

平成26年度事業報告書
 社会福祉法人すいよう会 障害者部門
 「多機能型事業所すいよう作業所」

1. 自立を目指した日々の営み

(1) 事業所利用者の状況

| 生活介護事業 | | 定員17名 | | | | | | | | | |
|--------|------|-------|------|------|------|------|--------------|---------|--|--|--|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | | | | |
| 利用者数 | 408 | 408 | 425 | 455 | 428 | 428 | | | | | |
| 利用率 | 109% | 104% | 113% | 116% | 109% | 114% | | | | | |
| 利用者数 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | |
| | 446 | 424 | 452 | 413 | 404 | 474 | | | | | |
| 利用率 | 114% | 113% | 115% | 105% | 118% | 121% | | | | | |
| | | | | | | | 平均 利用者数 430人 | 利用率112% | | | |

| 就労継続支援B型事業 | | 定員17名 | | | | | | | | | |
|------------|-----|-------|------|-----|-----|------|--------------|--------|--|--|--|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | | | | |
| 利用者数 | 402 | 383 | 380 | 352 | 362 | 360 | | | | | |
| 利用率 | 93% | 97% | 101% | 90% | 92% | 96% | | | | | |
| 利用者数 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | |
| | 376 | 363 | 374 | 360 | 334 | 396 | | | | | |
| 利用率 | 96% | 97% | 95% | 92% | 98% | 101% | | | | | |
| | | | | | | | 平均 利用者数 370人 | 利用率97% | | | |

| 就労移行支援事業 | | 定員6名 | | | | | | | | | |
|----------|-----|------|-----|-----|-----|-----|--------------|--------|--|--|--|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | | | | |
| 利用者数 | 91 | 93 | 83 | 85 | 94 | 121 | | | | | |
| 利用率 | 68% | 67% | 63% | 61% | 68% | 92% | | | | | |
| 利用者数 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | |
| | 126 | 119 | 122 | 120 | 110 | 132 | | | | | |
| 利用率 | 91% | 90% | 88% | 87% | 91% | 96% | | | | | |
| | | | | | | | 平均 利用者数 108人 | 利用率80% | | | |

| | 生活介護事業 | 就労継続支援B型事業 | 就労移行支援事業 |
|----------|--------------------------------|------------|-----------|
| 定員 | 17名 | 17名 | 6名 |
| 現員 | 23名 | 20名 | 7名 |
| 男:女 | 18人:5人 | 13人:7人 | 6人:1人 |
| H26就労人数 | | 0人 | 0人 |
| 障害程度区分 | 区分6… 2人 区分5… 13人 区分4… 8人 | 利用に区分必要なし | 利用に区分必要なし |
| 送迎利用 | 19人 | 15人 | 1人 |
| 障害者年金受給者 | 19人 | 20人 | 4人 |

(2) 利用者の一日の活動

平日

| 時間 | 活動内容 |
|-------------|--------|
| 9:20～ | ラジオ体操 |
| 9:30～10:30 | 作業 |
| 10:30～10:40 | 休憩 |
| 10:40～12:00 | 作業 |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00～14:15 | 作業 |
| 14:15～14:30 | 休憩 |
| 14:30～15:30 | 作業 |
| 15:30～16:00 | 片づけ・終礼 |

※毎金曜日午後の休憩は、コーヒタイム。

土曜日開所日

| 時間 | 活動内容 |
|------------|----------|
| 9:30～12:00 | 余暇利用・作業等 |
| 12:00～ | 昼食・休憩 |
| 13:30～ | 送迎 |

(3) 授産事業

| ①作業工賃 | 月平均約14,350円 | 毎月10日支給。年3回賞与。 |
|-------|------------------------|--|
| ②作業班 | 1・菓子製造班 2・室内作業班 | <p>●利用者支援について 5名の利用者の方が取り組んでいます。個々の特性に応じた作業内容に取り組んでもらい、毎日ある程度決まった作業内容だったことも大きな要因ではあるが、皆さん自覚して取り組みました。</p> <p>●作業の状況について 安定して作業に取り組んでいる。製造・販売ともに好調であったが、年度末1, 2, 3月は注文が少なく今後の方向性を考える良い機会となりました。</p> <p>※今後の売り上げ増加や販売については営業を行うことと、新製品の開発販売が重要なポイントになると思われる。</p> <p>取引業者 山中商事 鈴木加工 鈴木樹脂 Zeast アクト 川善</p> <p>●利用者支援について 25名の利用者の方が取り組んでいます。室内作業についても個々の特性に応じた作業内容に取り組んでもらい、作業予定表を確認して取り組みました。作業物の確認準備や片づけについても意欲的に取り組みています。</p> <p>●作業の状況について 各業者からの委託品を利用者一人一人の特性に合わせての作業を行う。委託品の納期が厳しい物もあったが大きなミスなく丁寧に商品にしあげることができた。</p> <p>※問題点としては請負価格が低価格であることである。</p> |

| | | |
|--|---------------|--|
| | 3・外作業班 | <p>●利用者支援について</p> <p>19名の利用者の方が取り組んでいます。外作業については作業の種類もたくさんあり、天候も関係してくるので年間を通じて作業を断ることもありました。外作業についても個々の特性に応じた作業内容に取り組んでもらいました。利用者の方は作業内容によっては意欲も違ってはきますが、達成感や自信を持つ作業に取り組みました。</p> <p>●作業の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託作業 公園管理や草刈り業務等は大きな問題もなく例年通り取り組んでいます。 ・野菜部門 <p>地域販売が定着し色々な方から好評を得ています。最近の天候により、高温多湿からくる病気や植え付け時期の遅れ等、問題になってきています。農薬散布をしない農業でしたが今後は検討が必要になってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ部門 <p>アルミ製ゴミ箱は注文後からの製作になるので季節によっては注文された方の希望に添えないことがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹パワダー <p>竹パワダーについては作業の一つとして計算できつつありますが、竹の性質等により、伐採後すぐにパワダーにすることが難しいので置き場所の問題や長期に保管した場合の色の変色やカビの問題が課題点であります。</p> <p>※夏場等の作業については検討事項です。</p> |
| | 4・施設外作業班 | <ul style="list-style-type: none"> ・なの花 <p>なの花のクリーンスタッフについては1名が取り組んでいます。</p> |
| | 5・就労に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・企業(1事業所)での実習(1名) <p>1名が企業にて実習に取り組みましたが就労に結び付きませんでした。</p> <p>課題点</p> <p>本人の意欲が大きく左右されるので本人自身の問題であることもあります。また、企業から求められる専門的なスキルも高くなってきているので関係機関と連携して対応していきたい。</p> |

II. 所内外行事

(1) 所内行事

| 月 日 | 行 事 | 内 容・意 義 |
|-----|---------|--|
| 4月 | 生活自立体験 | レクリエーション活動(お花見)。 |
| 5月 | 定期健康診断 | 利用者・職員の生活習慣病等健康維持のため。 |
| | 三者懇談会 | 利用者・保護者・職員の情報交換及び各自の目標確認。 |
| 6月 | 歯科検診 | 利用者の衛生管理指導及び検診。 |
| | 社会見学旅行 | 香川方面にて日帰り旅行。神社や色々な場所を見学する。 |
| 7月 | 生活自立体験 | 利用者・保護者・職員で、バーベキューを通して余暇の過ごし方等を体験する。 |
| 8月 | 生活自立体験 | 余暇の楽しみ方として外食やカラオケを体験し楽しんだ。 |
| 9月 | 生活自立体験 | 余暇の楽しみ方として利用者の方が中心になりバーベキューを実施した。 |
| 10月 | 秋季大運動会 | 神郷幼稚園の参加での運動会(地域参加)。 |
| | 三者懇談会 | 利用者・保護者・職員の情報交換及び各自の目標について。 |
| 11月 | すいよう福祉祭 | 地域交流。野菜やクッキー等販売を行い、地域の方と交流を行う。 |
| 12月 | 生活自立体験 | 余暇の楽しみ方として、カラオケ、ボウリングを体験し楽しむ。 |
| | 餅つき大会 | 利用者・職員・保護者が一体となり、家庭で少なくなった杵でつく餅の体験を全員が行った。 |
| 1月 | 生活自立体験 | 余暇の楽しみ方として、新年会に参加する。 |
| 2月 | 生活自立体験 | 利用者自身が決定した調理を体験する。 |
| 3月 | 三者懇談会 | 利用者・保護者・職員の情報交換及び各自の目標について。 |
| | 生活自立体験 | 市内ジョブピニングモールにて買い物。社会性と購入するときの数の概念、お金の大切さを学習する。 |

※季節に応じた行事

※避難訓練・・・年3回実施する。火災・災害等の非常時に冷静で、敏捷に行動できる能力の育成・消火訓練実施。

(2) 所外行事

| | | |
|-----|--------------|--------------------------|
| 5月 | 愛媛県障害者スポーツ大会 | 他施設との交流や全国大会出場を目指して参加する。 |
| 11月 | 神郷校区文化祭 | 地域交流、参加 |

III. 職員

1. 利用者に対する支援(利用者の個性に応じて)

(1) [生活支援]

・昼食後の歯磨き支援について強化して取り組む。また、身だしなみや感染症について説明を行い、手洗いうがいへの定着に取り組む。

(2) [職業支援]

・一般就労を希望する方に関してはハローワーク新居浜、関係機関と協力して一般企業にて実習を行う。また、作業所内での作業については工賃向上を目指し利用者一人一人の特性に応じた作業を提供することに努める。

(3) 三者懇談会

・利用者、保護者、職員の三者で個別支援計画及び意見や情報を交換し、利用者に対して共通(家庭と施設)の支援の実践につなげる。

(4) 家庭訪問

・長期休業の利用者に対して家庭訪問を実施し意見や情報を交換し必要な福祉サービスがあれば情報の提供をおこなう。

2. 職員の勤務に対する評価と資質向上

(1) 研修会

● 所内研修

- ・利用者一人一人の個別支援計画について
- ・障害者虐待防止法について
- ・障害者総合福祉法について 等々

● 所外研修

- ・県内、県外を含め各種研修会に参加する。
- ・商品の販売等福祉とは関係ないセミナーに参加し、営業力や販売に関しての研修に参加する。

IV. その他

(1) 地域との交流、連携

作業所の運動会や、校区文化祭等において地域の方との交流を深めることができた。また、外の作業中においても声を掛けってもらうなど地域の一員として活動することができた。また、土曜日の開所日には地域清掃に取り組んだ。

(2) 利用者の送迎

送迎を利用する方が多くなったが、事故もなく送迎を実施することができた。利用者を車に乗せての移動等は普段よりより一層の安全確認が必要であることを作業所職員全体で徹底した。

(3) 利用者の就労等

働くことに対しての意識は施設外就労を含めとも向上したと思われる。就労については今後も取り組んでいく大きな課題である。今後も施設外就労を通して働く事の意義や社会の中での役割等を学べる様支援していきたい。

V. グループホームについて

現在6名の方が利用している。今後、国の方針で入所施設が増加しない現状での利用者の方の高齢化に向けた生活基盤をどのように構築していくのかが大きな課題であり、また、ホームをしつかりとした事業として運営していくための諸規定の整備や職員のスキルや配置についても解決していかないと課題であると思われる。